

# 第 16 回災害支援訓練

## 実施報告書

広域一般廃棄物事業協同組合

## 第 16 回災害支援訓練実施報告書

### 広域一般廃棄物事業協同組合

日 時：平成 30 年 2 月 17 日（土）9：00～12：00

場 所：①集合場所…南足柄市役所市民広場（南足柄市関本 440）

②派遣場所…指定避難所となる北足柄小学校、北幼稚園、南足柄小学校、南足柄中学校、向田小学校、県立足柄高等学校、福沢小学校、岡本小学校、岡本中学校、岡本幼稚園・駒千代青少年広場、岡本コミュニティセンター、岩原小学校の 12 箇所

参加者：南足柄市 9 名、神奈川県 1 名、小田原市 2 名、座間市 1 名、箱根町 2 名、協力会社 1 名、広域一般廃棄物事業協同組合 36 名

趣 旨：災害時における一般廃棄物災害収集に関する協定を締結している中で、災害が発生した際にスムーズな対応ができるかどうかを確認し、かつ、災害応急対策に対する相互理解を深める。

想 定：平成 30 年 2 月 16 日（金）15 時に発生した地震（震度 7）の影響により、南足柄市が被災し、市内の避難所設置による仮設トイレの汲取りと避難所ごみの収集、震災ごみ増加・道路事情悪化により家庭ごみの収集・運搬に支障をきたしているという想定のもと、災害応急対策を行う。

内 容：緊急連絡網による連絡訓練、応援要請から参集訓練、指定避難所及び清掃工場、し尿処理場並びに最終処分場への派遣訓練までを行う。また、災害時トイレのあり方として組立ての容易性の評価が高い備蓄用仮設トイレの組立てデモンストレーションを行う。

主な使用機材：

①バキューム車	7 台	⑫車両看板	20 枚
②塵芥車	7 台	⑬ヘルメット	8 個
③テールゲート	1 台	⑭安全ベスト	5 着
④仮設トイレ	8 基	⑮腕章	3 個
⑤仮設テント（3m×3m）	1 張	⑯カメラ	4 台
⑥ポータブルワイヤレスマイク	1 機	⑰立て看板	1 枚
⑦メガホン	1 機	⑱机	2 台
⑧白板	1 枚	⑲椅子	6 脚
⑨非常食セット	35 個	⑳コードリール	1 個
⑩地図（防災マップ）		㉑その他備品	
⑪組立式仮設トイレ	1 基		

備 考：

## タイムテーブル

### 2月16日（金）

- 15：00 南足柄市に震度7の地震発生。
- 15：20 南足柄市環境経済部からの応援要請に基づき、組合員へ応援要請。
- 16：00 組合の支援体制を南足柄市に連絡。

### 2月17日（土）

- 9：00 全派遣班、集合場所に到着（南足柄市役所市民広場）
  - 司会進行 加藤副理事長
  - 開会挨拶 鈴木理事長
  - 行政機関挨拶 加藤市長
  - 参加者紹介
  - 訓練行程説明
  - 南足柄市から応援要請の内容説明
    - ・市内12箇所の指定避難所設置とそれに伴う仮設トイレ汲取り、ごみ収集班編成（2班体制とする。第1班を高橋班長、第2班を稲葉班長が担当）
    - 責任者会議（浅田統括、高橋班長、稲葉班長、あしがら環境保全・南足柄衛生担当者）
    - 班別ミーティング
      - ・市内状況説明
      - ・運行計画作成、作業指示
- 9：25 作業チームごとに指定避難所へ移動、足柄衛生センター、清掃工場、最終処場
- ～11：00 へ搬入
- 11：00 災害用仮設トイレ組立てデモンストレーション
- ～11：20
- 11：25 訓練終了式
  - 班別に派遣訓練結果を報告
  - 関係機関挨拶 南足柄市環境経済部 露木部長
  - 講評 鈴木理事長
- 12：00 訓練場所清掃、後片付け
- 解散

## 現地案内図

南足柄市関本 440



現地災害対策本部

## 訓練状況

### 開 会



### 南足柄市長より挨拶



### 環境経済部から指令を受ける





## 訓練状況

第 1 班ミーティング



第 2 班ミーティング



災害支援車両  
バキューム車 7 台  
塵芥車 7 台  
仮設トイレ運搬車 1 台



## 訓練状況

広域避難所に向けて  
順次出動



災害用仮設トイレ組  
立て訓練



仮設トイレ使用方法  
を説明





## 訓練状況

訓練終了式  
派遣班ごとに訓練報告



環境経済部長より  
挨拶



理事長より講評





# し尿・ごみ災害時の課題

## 広域リサイクル事業協同組合 南足柄市と訓練

ごみ処理、し尿処理の民間事業者で構成する広域リサイクル事業協同組合（鈴木茂理事長、事務局小田原市寿町）は17日午前、南足柄市と合同で災害支援訓練を実施した。組合員や市職員ら約50人が参加し、有事の際に連携が円滑に進められるよう、あらためて手順を申し合わせた。

訓練は2月16日午後、地震（震度7）に伴い、道路や下水道など公共インフラに大きな被害が生じたとの想定。南足柄市は小中学校など12カ所の指定避難所を開設。初めに組合と市が緊急連絡網を使い、応援要請と参集の要領を確認した。

災害時、各避難所には大勢の市民が集まってくるため、仮設トイレのし尿処理、ごみの収集業務が求められる。市は組合と結んでいる協定に基づき、避難所での支援を要請した。

市の防災担当職員は組合員らに行き先を示し、4班の各リーダーを指名。続いてリーダーが班員らに巡回経路を説明したあと、参加者は各自のバキュームカー7台、パッカー車7台に乗り込んで市役所を出発した。

各避難所の敷地内には入らず、外から進入路などを確認する作業。組合員らは次の避難所までの経路を覚えながら、ごみ、し尿を搬入する処理施設も巡回し、約90分かけて市役所に戻ってきた。

最後に、災害用仮設トイレを組み立てるデモンストラレーション。また、各班が気づいた点を報告し合った。避難所内のどこに仮設トイレを置くべきかについては、今後の検討課題。災害時、設置を担当するのは各地域の住民ら。いずれは市民も参加する形式の訓練が求められる。

鈴木理事長は、県西部の中で組合と協定を結んでいない町があることから、今後も働きかけを強めていきたいと展望を語った。



指定避難所に向かうため、車両に乗り込む組合員ら

は冒頭のあいさつで、県内の広い範囲から専門業者の社員が駆けつけ、県と小田原市、箱根町、葉山町の行政職員も視察に来たことに感謝。災害時のし尿処理、ごみ処理は医療、食料、飲み水より重要ともいえるため、反復して訓練する重要性を訴えた。

同組合は県西部や湘南、県央地域などの14事業者で構成。南足柄市との訓練は2回目。2011年3月の東日本大震災を契機に、12年から、し尿処理、ごみ処理に特化した災害対応訓練を継続実施している。

## 避難所開設時のトイレ、ゴミ問題に備え 南足柄市で災害支援訓練を実施

2月17日、県西部を中心にゴミ収集・廃棄物委託業者が組織する「広域一般廃棄物事業協同組合」(鈴木茂理事長)と南足柄市が災害支援訓練を実施した。災害時に市内避難所のトイレやゴミの問題に対処するための訓練で、南足柄市では2回目。

当日は、大地震が発生して市から応援要請を受けたという想定で、県西部や伊勢原、葉山などから14社が参加。パッカー車やバキューム車が4つの班に分かれて、広域避難所となる幼稚園や小学校など12カ所に赴き、施設や道路状況の確認を行った。

また、仮設用トイレの組立訓練も実施された。



**加藤修平南足柄市長**  
「大きな災害時は、衛生面への配慮が不可欠となり、トイレやゴミの問題は避けて通れない。今後も訓練を通じて改善を図り、より確かな対応になるよう努力していきたい」



仮設トイレの  
組立訓練